

製品名: リン酸化 Smad2/3 (Thr8) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab03350**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	Calculated MW: 52 kDa; Observed MW: 48-52, 60 kDa

抗原情報

遺伝子名	SMAD2/SMAD3
別名	SMAD2; MADH2; MADR2; MAD homolog 2; M hMAD-2; SMAD family member 2; SMAD 2; Smad2; hSMAD2;SMAD3; MADH3; hMAD-3; JV15-2; SMAD family member 3; SMAD 3; Smad3; hSMAD3;smad2/3;smad2+3
遺伝子 ID	4087/4088
SwissProt ID	Q15796/P84022
免疫原	抗血清は、Thr8 のリン酸化部位周辺のヒト Smad2/3 由来の合成ペプチドに対して作製された。 アミノ酸範囲: 1-50

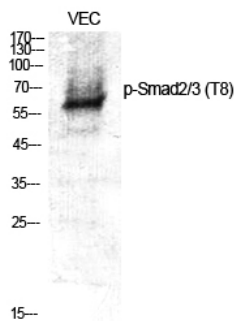
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、ショウジョウバエの遺伝子「mothers against decapentaplegic」(Mad) および線虫の遺伝子 Sma の遺伝子産物に類似したタンパク質ファミリーである SMAD に属します。SMAD タンパク質は、複数のシグナル伝達経路を媒介するシグナル伝達因子および転写調節因子です。

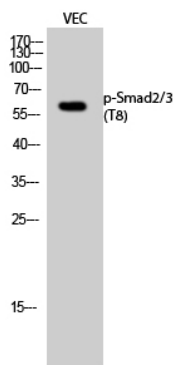
研究分野

シグナル伝達

画像データ



リン酸化 Smad2/3 (Thr8) 抗体を使用した、さまざまな溶解物中のリン酸化 Smad2/3 (Thr8) のウエスタン ブロット分析。



Phospho-Smad2/3 (T8) 抗体を使用した VEC 溶解物中の Phospho-Smad2/3 (Thr8) のウエスタン ブロット分析。